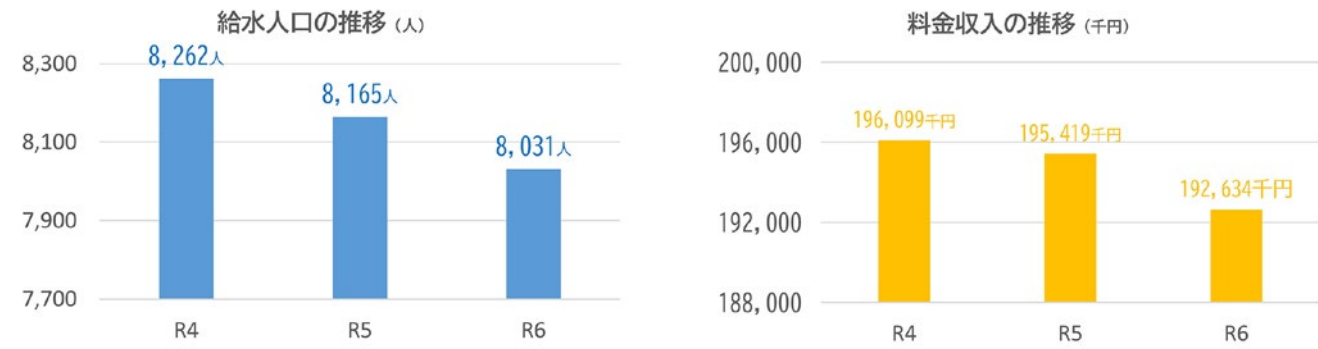
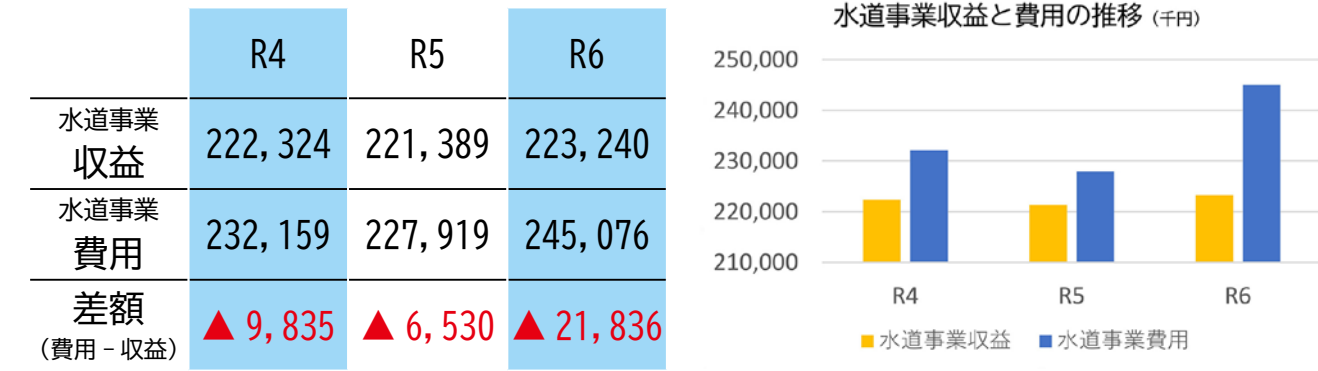


水道事業の現状と課題

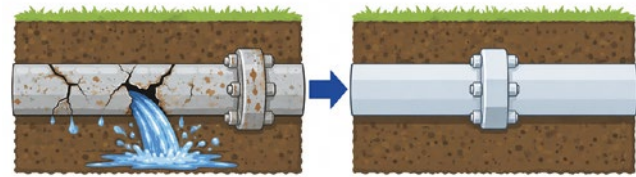
現状① 給水人口の減少に比例して水の使用量も減り、料金収入も減少しています。



現状② 過去3年間、費用が収益を上回る状況となっています。
※不足分(赤字)については、繰越利益や利益剰余金により補填しました。
(千円)



課題① 老朽化した水道管の更新



国見町の令和6年度管路経年率(耐用年数を超えている水道管の割合)は、約20%で全国平均の約27%に比べると更新の割合は高い状況ですが、引き続き40～50年経過した古い水道管の更新を計画的に行う必要があります。

課題② 施設の更新のための投資が必要



国見町の上水道は、簡易水道時代の施設を利用しているものも一部あり、今後古い施設の更新が必要となり、多額の投資が必要です。なおこの際、施設を統廃合することで維持管理費用を削減することが見込めます。

良質な水を使い続けるために

水道事業は、皆様からの水道料金収入により運営されています。
将来の安定した水の供給のために、水道料金の今後のあり方を検討します。

現在、私たちは水道の蛇口から不自由なく水を利用していますが、それは水道事業による安定した水の供給によりです。
今後も将来にわたり、良質な水を使い続けるためには、施設や設備の維持管理、将来に向けての施設や設備に投資を行う必要があります。



水道に関する詳しい情報は町ホームページでご覧いただけます。



数字で見る水 ～ 私たちの生活に欠かせない水 ～

人の体の

約 **60%**

が水分です。

1人が1日に
使う水の量は

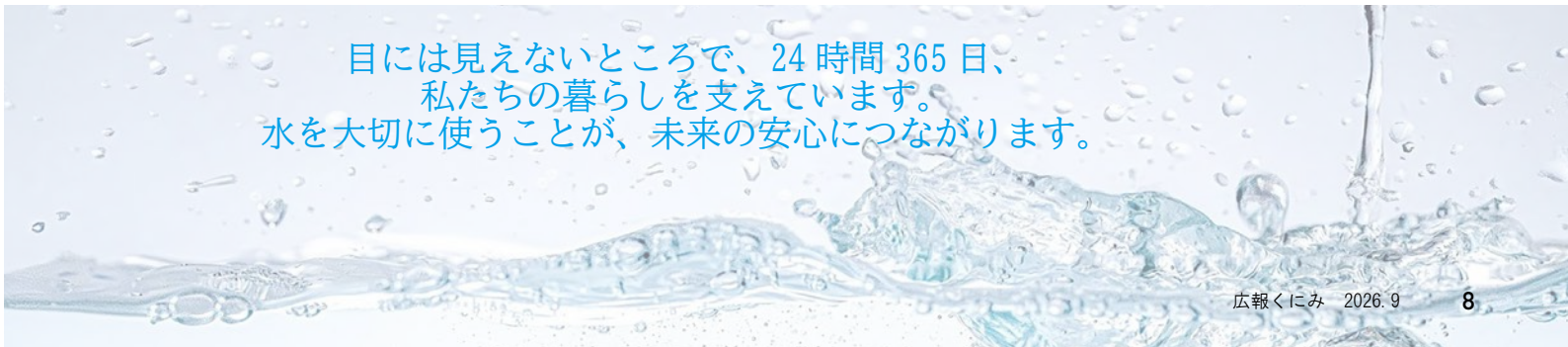
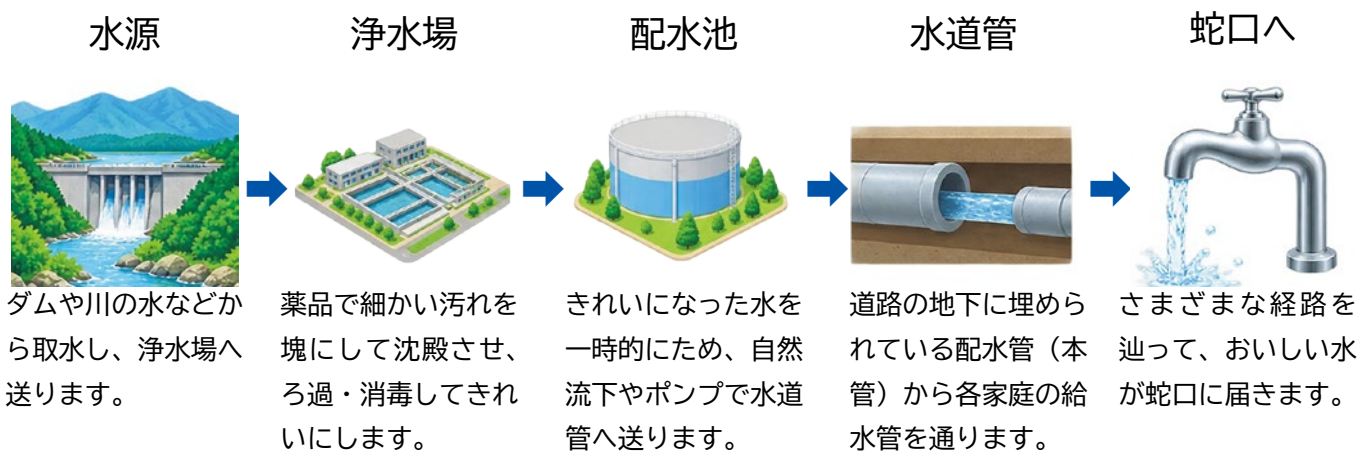
約 **220L**

一番多く使うのは
お風呂で

約 **90L**

次いで、トイレ(約50L)、炊事(約40L)

水はこうして私たちのもとへ



目には見えないところで、24時間365日、
私たちの暮らしを支えています。
水を大切に使うことが、未来の安心につながります。